

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ハイジックス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	ΔRG	0.031	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

**比較対照ボール：ロック & リコシェ**

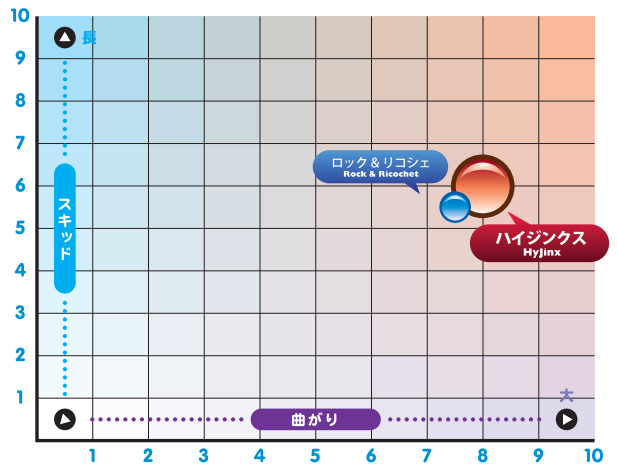
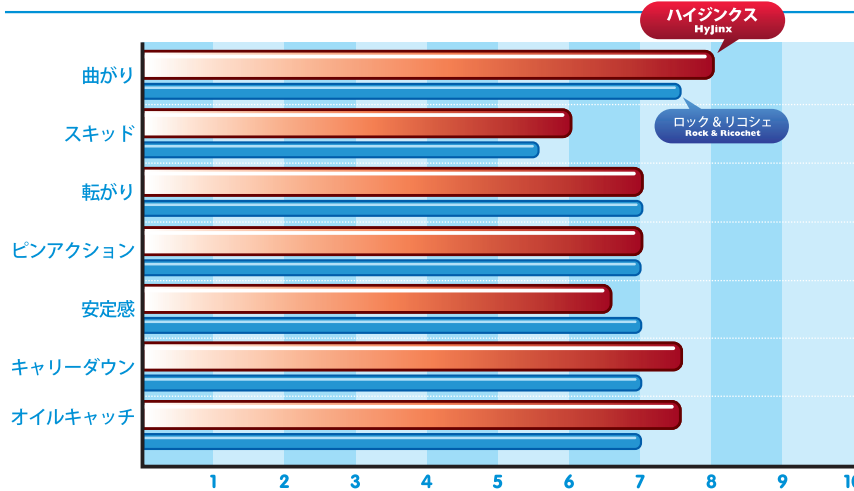
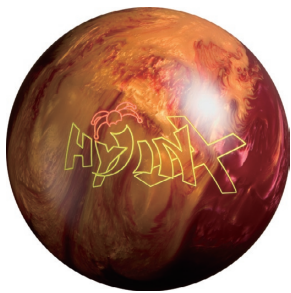
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil
バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle
レンジ	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll

### ボールの評価

今回コロンビア社はハイジックスとジックスの2種類をコア形状及び数値 (RG/ΔRG) を変更せず、カバーストックの変更のみで作りあげてきました。アグレッシブなバックエンドリアクションのハイジックスと手前のクリーンな走りを重要視したジックス。ここではハイジックスのレポートをお送りしたいと思います。投球してまず驚いたのは、**オイル上での安定したキャッチ力の中にもスキッド感があり、尚且つバックエンドリアクションが角の出る非常にアグレッシブな性能**であることです。特に**ドライゾーンでの反応が良く、向きを変えてからピンヒットまでの力強さを感じます**。私の場合、外目にドライゾーンを感じる事が出来れば、中から大きく出し戻しが出来るボールにも感じます。開発チームの他のメンバーもほとんどが同じようなリアクション性能を感じているようです。スペック的にはRG2.500、ΔRG0.031とハイスベックとは言えませんが、このようなリアクションを発揮できるのも**新開発の Single Density コアと Big Flip Strong Reactive カバーストックの組み合わせが良い**ということでしょう特にこのカバーストックは安定したパフォーマンスを供給している M-80 カバーストックと並んで、これからコロンビア社の軸となるカバーストックとなるでしょう。箱出しの2000番ポリッシュ加工でも十分なキャッチ力を感じていただけますが、番手を落とすことにより、よりオイル上での安定感が高まります。用途により使い分けられ、使用できるのもこのハイジックスの良いところと言えます。

### 特記事項

**ロック & リコシェの柔らかく切れるリアクションイメージに対して、このハイジックスは角の出るリアクションを感じられます。切れるボールをお探しの方は是非お試しください。**